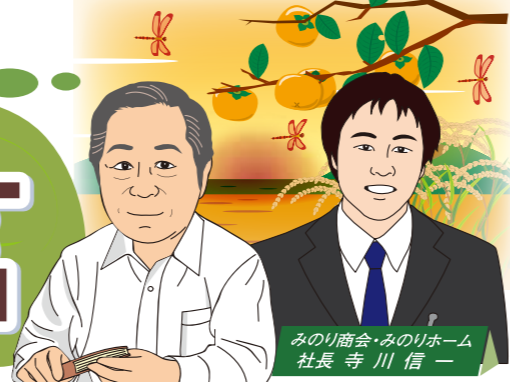


2015 ティータイム通信



みのりホーム・栗田工務店
会長 寺川 勲雄

みのり商会・みのりホーム
社長 寺川 信一

10

発行/
建築許可(般-22)16806号
(財)住宅保証機構登録店
株式 みのりホーム
会社
松山市福音寺町43番地1
Tel 089-976-0047
[HP] [みのりホーム](#) [検索]
[E-mail] minori@minori-group.com

一級建築士事務所 第3021号
日本増改築産業協会 正会員
株式 栗田工務店
会社
松山市福音寺町42番地6
Tel 089-993-7555
[HP] [栗田工務店](#) [検索]
[E-mail] kurita39@lilac.ocn.ne.jp



みのり 知恵袋通信

こちらのコーナーでは毎月、生活に役立つちょっとした小ネタをご紹介します

● 第44弾「江戸から学ぶ先人の教え！」

■ 江戸っ子の心遣いは現代でも使える

「江戸しくさ」とは、「江戸商人のリーダーたちが築き上げた、上に立つ者の行動哲学」であり、「自然を大切に、円満な人間関係を維持し、異文化と共生する知恵」のことだといえます。そんな「江戸しくさ」3つを見ていきましょう。

1. 譲り合いの精神を学ぶ「こぶし腰浮かせ」

「江戸時代、渡し船はお互いさまの乗合船」であり、「狭い船の中で譲り合うのは当たり前。ちょっと腰を浮かし、こぶし一つくらいを譲れば、わけなく空き席ができた」という教えです。他者と何かを共有するときは譲り合わなくてはいけないのは当然のことですが、疲れているとどうしても心が狭くなってしまい、電車の中

で、お年寄りが立っていてもついつい寝たふりをしてしまう……。そんなときにふと思いたいのが「こぶし腰浮かせ」です。

2. ちょっとした心遣いがカッコイイ「傘かかげ」

「狭い道路ですれ違ふとき、ちょっと傘を倒して、お互いに軽く会釈を交わす姿」のこと。傘がぶつかり合うことを防ぐ、ちょっとした心遣いですが、相手を尊重し、思いやる心の表れです。

3. 江戸っ子のコミュニケーション術「東の間付き合い」

江戸っ子は見ず知らずの人も上手にコミュニケーションを図りました。それは「見知らぬ人も仏の化身と考えた」ためであり、だれとでも顔を合わせたらあいさつをし、一期一会を大切にするように心がけました。これが「東の間の付き合い」です。近所付き合いさえも失われつつある今日知らない人だからといって、店やレストランで悪態をついたり、電車内で化粧したり、友人知人には見せられない行動をとってしまうことはありませんか? 「見知らぬ人も仏の化身」と思えば、そんな行動も慎めるかもしれません。

今年もやります
2015 10/31(土) 11/1(日) 10:00~16:00
ぜひお越し下さい
感謝祭
福音寺町の栗田工務店(裏面地図参照)
みのり商会・栗田工務店の不動産・住まいフェア

10/31(土)・11/1(日) 11:00~15:00 大ビンゴ大会!!

BINGO!
参加費 100円
特等
お米10kg
その他景品
トイレトーパー 36ロール
ティッシュペーパー 5箱
お米 5kg
ハズレなし♪

ご来場記念品
当社オリジナル もれなく進呈
「幸せの黄色いタオル&食品用ラップ」

大工さんと作る **木工教室** 両日 14:00~16:00 (屋外)
参加費/200円 自由参加
● 端材を使ってつくろう!
※動きやすく汚れてもいい服装でご参加ください。

知って得する!!
相続 **税** 対策セミナー
両日 13:00~ **無料**
・円満相続のコツ
・相続税対策の成功例・失敗例
・これだけはやっておきたい3つのこと
※セミナー後、個別に相談も受け付けます

講師
税理士
柳井 崇延

両日 午前中 **包丁研ぎ**
(包丁に限ります)
1組様2本まで
包丁が切れ味バツグンだとお料理が楽しくなります。
無料!!

両日 午後 **網戸張替**
1組様3枚まで
大きさ一律 **500円**
※会場までご持参ください。
※ゴムのないものはプラス200円

やわらぎ便り

一仕事と趣味の両立
「挑戦する毎日」

私が入社してから約5ヶ月、もうすぐ半年になろうとしています。スタッフとしてまだまだ慣れないところや失敗するなど悪戦苦闘しながら毎日頑張っているところです。また最近では夜勤が始まり、一つ新しいことに挑戦し自分のレベルアップに挑戦しています。初めてのことはやはり緊張しますが、先輩スタッフの皆さんに一つ一つ優しく丁寧に教えてもらっているのととても助かっています。

仕事をしながら、私は学生時代から続けているスポーツにも力を入れています。日差しが強く照りつける中、外で運動をしたり、仕事のあとにジムに行ったりと毎日欠かしません。最近では8月に2度トライアスロンに出場しました。学生の頃とは環境が違うため時間が取れない時もありましたが、自分が出せる力は出し切ったと思います。8月2日に双海で、8月23日は中島で初のリレーで出場しました。私は水泳担当で、結果は3番でした。しかし嬉しさより負けた悔しさの方が強く、更に上を目指

グループホームやわらぎ (枝松)
石川 晃 (平成27年度入社)

そうと思いました。
仕事に関してもスポーツに関しても、私はまだまだ未熟者です。足を引っ張ることや失敗することもあります。しかし私は諦めずこれからも挑戦し成長していきます。来年には私も先輩となります。その時までには、恥にならないように立派なスタッフになります。そしてスポーツも、更なる高みを目指して日々精進していこうと思います。



ホームページ <http://www.yawaragi-ehime.com/>

栗田工務店 ビフォー・アフター 安心・安全・快適リフォーム!
今月の Before → After 施工例 松山市 T様邸



●お客様の声

玄関 玄関先だけの訪問客が意外と多いので、思い切って広く取りました。子供達はシューズクロークからの出入りにすることでいつもスッキリとした空間になりました。また、一部珪藻土の塗壁にしたのも雰囲気が出てよかったです。

キッチン 自分に合った高さのキッチンを選ぶ事が出来たので、腰痛がとても楽になりました。カートリッジをセットするだけの浄水付にしたので、水を買わなくても良くなり負担が減りました。

リビング 一角にパソコンや趣味の制作をする小間スペースをとりました。個室ではない為、子供達に邪魔されないか心配でしたが、別の部屋に引きこもってしまうよりも大人の気配を感じて安心して遊んでくれています。

畳ダイニング カウンターを付けることによって、来客が増えてもテーブルに困ることなく食事が出来ます。子供のお絵かきや宿題をするのにとても良い空間になりました。

外回り 土間にすると、べったりしてしまうので隙間にリュウノヒゲを植え込み、ポイントに暗めのタイルを入れました。塀にはガラスブロックをいれてスタイリッシュなデザインになりました。

●お問合せは
株式会社 栗田工務店
☎ 0120-70-1516
担当：住田 羊子



現場からの便り



志津川の邸宅
東温市志津川で建築中のS様邸。屋根工事も終わり、現在、大工工事中です。S様邸の陶器瓦の色は「ノルディックブラウン色」。北欧をイメージした自然な色ムラと、石造りの屋根を表現した色調です。漆喰の白色との相性も抜群です。完成の外観が楽しみです。



祝！上棟
松前町で建築中のN様邸が先日無事上棟しました。屋根の下地も出来上がって来て、どっしりとした大屋根の外観がわかるようになりました。大きな土間のスペースや、中二階的な書斎など、こだわりが詰まったお家で、出来上がりが楽しみです。



無添加大好き！
私の住まい

家づくりに大事なものは、
自然素材のバランス感覚

T様邸

ある日、本屋さんで見つけた「無添加住宅」という本。何かを感じたT様は早速、資料請求。そこには「弊社からの営業はいたしません!」の文字。その言葉通り、無添加住宅からは何の連絡もなく、月日が過ぎていきました。長く土壁の家に住んでおられたT様は日本の伝統家屋の心地よさや気候に応じた家づくりと素材の確かさを肌で感じておられました。そんな時、偶然、杉の家の見学会に。しかし自然素材のはずの杉で「本当に頭痛がしてきたんです」と体調を崩し、新築をあきらめかけた時、あの本「無添加住宅」のことを思い出したのです。再度、読み直したT様の目に飛び込んできたのは、「自然素材もそのバランスが大事」と書いてあった部分。ご自身が身を持って、その大切さを知

ているからこそ、本の内容がすぐに理解できたそうです。
健康な家の一番大事なポイントを学んだT様。木と石と漆喰がほどよいバランスで配置された外観の無添加住宅に住み始めたのは、そんなに先のことではありませんでした。



もう一度、家の基本を見つめよう-15

今月も漆喰の話ですよ～。前回述べたように漆喰はそのもの自身で固まる性質を持っているため、家の外部にも使えるのが特徴です。無添加住宅では、柿渋とサラダ油を混ぜることによって化学変化で撥水効果が生じることに着目し、これを漆喰に混ぜて外部用の仕様としています。さらに軒のまったくない家や塀に対応できる『漆喰バリア450』(450は汚れんのシャレです)を塗布することにより、外壁の漆喰の表面を

珪素化(水晶化)させて撥水することが出来ました。これまでの説明でご理解いただけたと思いますが、「接着剤の寿命=珪藻土の寿命」です。これに対して、漆喰はたとえ汚れても外観が気にならないのなら、そのまま放置しておいても長持ちします。スペインやギリシャ、フランスの古い家では、刷毛で漆喰を塗り重ねて何百年もたせているのです。
ちなみに、市販品のほとんどの漆喰には、割れにくくするために化学接着剤が入っています。さらに「100%の天然素材」と書いてある漆喰のサンプルをライターで燃やしてみると石油のような臭いがするので、変だと思われるはずですが、これは1%以下の含有量なら表示しなくてもよい!というおかしな法律があるのです。1袋の1%以下なら、まあたいしたことないかもしれませんが、家1軒建てるのに何十袋も使う場合は見過ごせない量になるのが、分からないのでしょうか? この国は…。